

令和4年9月8日

保護者様

令和4年度全国学力・学習状況調査の実施結果について（概要）

基山町立若基小学校  
校長 末安 殉治

今年の4月19日(火)に全国の国・公・私立学校の小学校第6学年と中学校第3学年を対象に「令和4年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度分の調査結果の概要をまとめましたのでお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることをご理解くださいますようお願いいたします。

### 1. 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### 【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面、新型コロナウイルス感染症等に関する調査

#### 【教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）】

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

### 3. 生活習慣や学習環境等に関する調査結果の概要

#### (1) 特によい傾向が見られる主な項目

- ・「朝食を毎日食べている」96.8%（全国94.4%）
- ・「授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか」93.5%（全国59.2%）
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」90.3%（全国96.8%）

他にも、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」「人が困っているときは進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたい」等の項目により傾向がみられていました。

#### (2) 課題が見られる主な項目

- ・「家で自分で計画を立てて勉強している」54.8%（全国71.1%）

他にも、「自分にはよいところがある」や「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見通し、次の学習につなげることができる」等、全国平均と比較して、課題がみられる項目もありました。

#### 【生活習慣や学習環境等に関する調査の結果より】

各家庭で、決まった時刻に起き、朝食を食べるといった生活リズムを整えてくださっているおかげで、子供たちは、学校で元気に過ごすことができます。いじめはしてはいけないと理解するだけではなく、実際に困っている友達を助ける中で、人の役に立つ人間になりたいと考えている子供が多いことが分かりました。

しかし、課題がみられた項目もありました。それらを受け、学校では、子供たちが達成感を抱き、自信を持つことができるような授業づくりやみんなが安心して学校生活を送れる体制、子供たちの自主性を育む取組などを工夫していきたいと考えております。

ご家庭におかれましても、家庭学習の様子をご覧になって励ましたり、何かにチャレンジしている姿を認めたりと温かい言葉かけをしていただけたらと思います。

#### 4. 教科（領域）ごとの調査結果の概要

##### 教科に関する調査の結果〔正答数〕

	国語〔14問〕	算数〔16問〕	理科〔17問〕
若基小学校	9.1問	10.2問	10.0問
佐賀県	9.0問	9.9問	10.5問
全国	9.2問	10.1問	10.8問

##### 【各教科の調査結果概要について】

国語	算数	理科
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語全体については、全国平均とほぼ同程度である。</li> <li>・「漢字を文の中で正しく使うこと」、「立場を明確にしながらか自分の考えをまとめること」については、全国平均と比べて相当高い結果となった。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」については、全国平均と同程度であるが、「書くこと」「読むこと」については低い結果となった。</li> <li>・文章のよさを要約したり、描写を基に登場人物の相互関係を読み取ったりすることについて課題が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数全体については、全国平均とほぼ同程度である。</li> <li>・図形の領域については、全国平均より相当高く、「百分率で表された割合を分数で表す」や「比例の関係にあることを用いて未知の数量を求める」という問題についても、やや高い結果となった。</li> <li>・条件が変わった場合の求め方を説明する問題や、表の見取り方については、課題が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科全体については、全国平均とほぼ同程度である。</li> <li>・「実験器具の名称」や「問題に対するまとめを選ぶ」問題については、全国平均と比べてやや高い結果となった。</li> <li>・「エネルギーを柱とする領域」については、全国平均より低く、「生命を柱とする領域」についてもやや低い結果となった。</li> <li>・問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く問題については課題が見られた。</li> </ul>

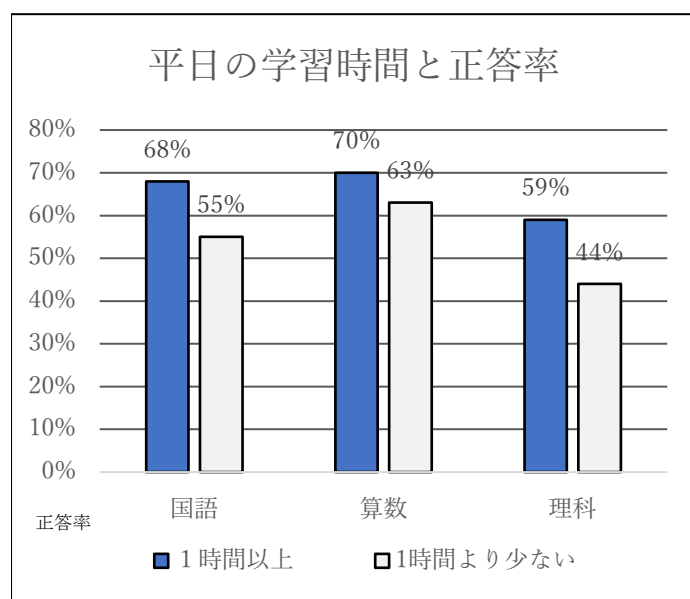
##### 【教科の調査結果より】

授業改善による学習指導の工夫や「家庭学習がんばろう週間」の実施等により、3教科とも、全国平均とほぼ同程度の結果となりました。今後も、学校と家庭の両方で子供たちを見守りながら、家庭学習の定着を図るとともに、子供が充実感を味わえるような授業づくりに取り組み、確かな学力を育んでいきたいと考えております。

#### 5. 若基小学校の学力向上の取組方針

- 1人1台端末等のICTを活用した学力向上のための取組を推進します。
- 思考力・判断力・表現力の向上のために、目的や意図に応じて表現する活動を取り入れます。
- 自己肯定感が高まる声かけを行うことで、自ら学びに向かう児童を育成する学習指導を推進します。

#### 6. 保護者の皆様へ（ご家庭での協力をお願い）



以下のグラフは、「平日の勉強時間」と「各教科の正答率」を関連させたものです。6年生の家庭学習の目標時間が70分ですので、平日、1時間以上勉強しているかどうかで表しています。3教科とも、平日1時間以上勉強している子供が高い正答率となっています。

毎日、忙しい生活を送っている子供たちですが、そのような中でも時間を作り、計画的に自ら学び続ける力、自分の学びを振り返り、自分に必要な学習を行うことができる力を身に付けさせていきたいと思えます。